

TCYSSでの情報収集・整理・蓄積と発信

2022年4月12日第2.8版
2018年5月15日第2.0版

■事業の位置付け

- ①国全体のサイバーセキュリティ対策の実施において、地方公共団体の中核的組織として、一翼を担う。
- ②東京都のトータルな中小企業支援の一環で。

■相談窓口業務の柱

①情報の集約及び知識化：

日々の情報収集・内容の要約・情報の知識化

②発信用情報の作成・蓄積：

知識化した情報をもとに、ユーザレベル毎の普及・啓発用情報の作成・蓄積

③情報の提供（発信）：

- ・【意識改革】ポータル、ガイドブック、出張相談により、能動的な情報発信
- ・【課題解決】電話およびメールによる受動的な情報提供

期待する効果と啓発対象者

課題解決・経営者の意識改革



TCYSS

情報の集約

情報交換

国等の機関からの情報発信
NISC
総務省
NICT
経済産業省
IPA
警察庁

国としてのガイドライン等

セキュリティ対策関連
ナレッジベース（知識）

①情報の集約及び知識化

セキュリティ関連情報

情報セキュリティ関連の
情報収集

IPA等との相談
対応窓口連携

TCYSS

ニュースサイト
(インターネット情報)

IPA及び他の相談対応窓口との実務連携

- ・IPA提供情報の活用
- ・インターネットでは得られない情報交換
- ・インシデント相談対応時のホットライン
- ・相談対応のための情報交換

情報の提供

電話相談
(東京都)

Google検索・
SNS (Twitter・
BookMark等)

直接アクセス
・Webページ
・電子書籍

②発信用情報の作成・蓄積

「サイバーセキュリティ対策の
極意ポータルサイト」

プレゼン用資料
詳細説明資料

セミナー等での普及
啓発活動
(警視庁・TCYSS
参加組織)

ガイドブック

電子書籍版
(PC, タブレット,
スマホで読めるもの)

冊子版

利用者が事前・緊急時ど
こでも見られるように
(ワンソースマルチユース)

TCYSS普及啓発活動の柱

▶ TCYSS事業の位置付け

- ▶ ①国全体のサイバーセキュリティ対策の実施において、地方公共団体の中核的組織として、一翼を担う。
- ▶ ②東京都のトータルな中小企業支援の一環で。

▶ ■相談窓口業務の柱

- ▶ ①情報の集約：
 - ▶ 日々の情報収集・内容の要約・情報の知識化
- ▶ ②発信用情報の作成・蓄積：
 - ▶ 知識化した情報をもとに、ユーザレベル毎の普及・啓発用情報の作成・蓄積
- ▶ ③情報の提供（発信）：
 - ▶ ・【意識改革】ポータル、ガイドブック、出張相談により、能動的な情報発信
 - ▶ ・【課題解決】電話およびメールによる受動的な情報提供



TCYSS普及啓発活動の情報発信

▶ 目的

- ▶ 東京都の多くの中小企業が、ITを活用したビジネス展開をする際に、セキュリティ問題が阻害要因にならないように、セキュリティ対策の普及を促進する。
- ▶ 有用な情報発信元として広く認知され、情報が活用されることにより、意義ある組織として事業が継続できる
 - ▶ 多くの中小企業の経営者、管理者に向けて、ポータルサイトから、体系的・網羅的な情報をタイムリーに発信。
 - ▶ 多くの中小企業に情報を届けて、有用な組織と認識されれば、活用され、組織の目標の達成を見込める。

▶ 情報発信の流れ

- ▶ 知識の蓄積
 - ▶ IT・セキュリティに関連した最新情報を、体系的・網羅的に収集、中小企業向けに知識化
- ▶ 知識を広く発信
 - ▶ ポータルサイトから、体系的に整理した知識を、タイムリーに発信。
 - ▶ 定期的な発信がないサイトはアクセスが増えない
- ▶ 発信情報の伝搬の促進
 - ▶ 発信情報が広く普及（伝搬）されるようにするために、アクセスルートを増やす
- ▶ 留意点
 - ▶ 有用と認識されない情報発信を増やして、件数を稼いでも、組織の存立意義は認識されない。



情報発信と、情報の伝搬の促進策

- ▶ 有用な情報発信
 - ▶ ガイドブックの内容のタイムリーな更新
 - ▶ IT活用の促進方法、セキュリティ対策の促進に関するホットな情報へ案内
- ▶ 情報の伝搬の促進策
 - ▶ サイトのアクセス状況
 - 「ポータル」のトップページのアクセスは、「ガイドブック」のトップページよりもアクセスが少ない
 - 各ページは、Googleの検索からダイレクトにアクセスされているケースのほうが多い
 - ▶ 情報の伝搬ルート
 - 「極意」ポータルのページの都度更新 ⇒ Google検索ロボットが収集
 - ポータルでの更新内容を「更新情報」に掲載 ⇒ Google検索ロボットが収集
 - ポータル内の情報(1件/週程度)
 - 「更新情報」をTwitterからツイート ⇒ Retweet、いいね、により広く拡散される
 - 更新内容を「はてなブックマーク」等のソーシャルブックマークに投稿 ⇒ タグ検索でリストアップされる
 - 外部機関からのホットな情報の発信(1件/日程度)
 - 詳細な補足が必要であれば、ポータル内にトピックスのページを作成し、Tweet。
 - Twitterで提供されたツイートをReTweet、簡単な補足が必要であれば、コメント付きReTweet。
 - Twitterのフォロアーが増えてくれば、その中でポータル内の情報へのリンクをTweetすることが有効になる。



IPA安心相談窓口との連携

- ▶ IPA提供情報の活用
- ▶ インターネットでは得られない情報交換
- ▶ インシデント相談対応時のホットライン
- ▶ 相談対応のための情報交換



TCYSSとしての普及啓発活動の課題

▶ TCYSS課題

- ▶ TCYSSメンバー間で、意識啓発活動・情報共有・相談体制・事案発生時の相互連携が機能していない



ポータルサイト内に「知識の貯蔵庫」セクションの追加

▶ 目的

- ▶ 専門員が調査分析した情報を知識として蓄積する。
- ▶ 蓄積した知識をもとに、要約して、ガイドブック等で発信する。

▶ 「セキュリティの部屋」

- ▶ ①ガイドブック
- ▶ ②～④サイバー脅威情報、東京都の取組、外部の情報紹介
- ▶ ⑤【新設】知識の貯蔵庫（ナレッジベース）【工事中】
 - <https://cybersecurity-tokyo.jp/security/KnowLedge>
 - ▶ ガイドブック内容解説（虎の巻）
 - ▶ 国等の施策・計画文書・白書・解説書
 - ▶ 参考情報【経営者、管理者向け】
 - ▶ 参考情報【一般ユーザ向け】

▶ レベル2以降

- ▶ ガイドブック内容解説（虎の巻）
 - ▶ ガイドブック内容の補足説明資料
 - ▶ お役立ちリンクのリンク先の資料の内容要約
 - ▶ サイバーセキュリティ関連組織が開設するポータルサイト
- ▶ 国等の施策・計画文書・白書・解説書
 - ▶ 基本文書（法律・基本計画・各種方針等）
 - ▶ 基本文書（サイバーセキュリティ関連）
 - ▶ 各種白書・年次報告書類
 - ▶ NIST文書・情報セキュリティマネジメント関連

▶ レベル2以降（続き）

▶ 参考情報【経営者、管理者向け】

- ▶ サイバーセキュリティ全般
- ▶ DX関連
- ▶ テレワーク関連
- ▶ AI関連
- ▶ IoTセキュリティ関連
- ▶ IT-BCP関連
- ▶ インシデント対応
- ▶ 個人情報保護関連
- ▶ システム開発・運用
- ▶ 人材育成
- ▶ 法令・規則
- ▶ ...

▶ 参考情報【一般ユーザ向け】

- ▶ インターネット利用
- ▶ ECサイト利用
- ▶ 電子メール
- ▶ SNS
- ▶ ...